

製品名: Chk1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21249**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:54kD;Observed MW:54kD

抗原情報

遺伝子名	CHEK1
別名	CHEK1;CHK1;Serine/threonine-protein kinase Chk1;CHK1 checkpoint homolog;Cell cycle checkpoint kinase;Checkpoint kinase-1
遺伝子 ID	1111.0
SwissProt ID	O14757
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

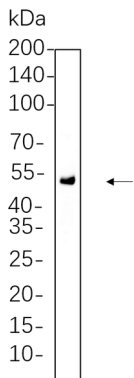
背景

細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーに属します。DNA 損傷また

は未複製 DNA の存在に対するチェックポイントを介した細胞周期停止に必須です。このタンパク質は、DNA 損傷応答に関与する 2 つの細胞周期タンパク質である ATM と ATR からのシグナルを統合する働きをします。ATM と ATR は、減数分裂前期 I においてクロマチンにも結合します。このタンパク質による CDC25A タンパク質ホスファターゼのリン酸化は、二本鎖 DNA 切断に対する細胞周期の進行を遅らせるために必要です。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。
[RefSeq 提供、2011 年 10 月]

研究分野

画像データ



K562 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を Chk1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。